様式1-1

# 平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 690110 | みよし市教育支援センター事業 | 主管課名 | 学校教育課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 社会と次代を担う自立した人材の育成 | | |
| | 施策 | 豊かな心と個性が輝くまち | 課長名 | 水野　克弘 |
| | 基本事業 | 教育内容・活動の充実 | | |

## (1)事業の概要

市内小中学生とその保護者、小中学校教員を対象として、いじめ、不登校等の学校の諸問題への対応支援、発達や就学に関する教育相談、個別の支援が必要な児童生徒に対応する教員への補助者の配置等を総括的に行う。

**(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 心の教室相談員・子どもの相談員 | 人 |
| ② | 専門相談員等　延べ相談件数 | 件 |
| ③ | 特別支援教育対応教員補助員 | 人 |

その指標

| (25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) | 心の教室相談員：各中学校１名ずつ　週３回、子どもの相談員：小学校８校に１名ずつ　週３回、専門相談員３名を配置：年間90日(単位：半日)、特別支援教育対応教員補助員を１７名を各校に配置 |
|---|---|
| 26年度計画 | ■前年と同様<br>□変更あり → 変更内容 |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

全児童生徒と保護者
教職員

**(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 児童生徒数 | 人 |
| ② | 教職員 | 人 |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

身近なところで相談できることによって相談件数が増え、悩みが少しでも解消される。
個に応じた対応ができ、学習効率を高めることができる。

**(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 相談件数 | 件 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくるとともに、規則正しく生活する健康な体力づくりを行う態度を育てる。

**(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)** ･･･数値は(9)

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 教育基本計画における重点施策の達成率 | % |
| ② | 体力テストの県平均を上回った種目の割合 | % |
| ③ | 身体測定の全国平均を上回った項目の割合 | % |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標＼年度 | | 単位 | 24年度実績値 | 25年度実績値 | 26年度計画値 | 27年度目標値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 人 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| | ② | 件 | 219 | 290 | 250 | 250 | 250 | 250 |
| | ③ | 人 | 15 | 17 | 24 | 24 | 24 | 24 |
| (6)の対象指標 | ① | 人 | 6,822 | 6,722 | 6,565 | 6,620 | 6,585 | 6,458 |
| | ② | 人 | 364 | 383 | 375 | 380 | 380 | 375 |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 件 | 2,063 | 1,688 | 1,600 | 1,600 | 1,600 | 1,600 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | % | 96.2 | 98.1 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | ② | % | 55.8 | 55 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| | ③ | % | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 10 | 項 | 01 | 目 | 05 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 24年度実績値 | 25年度実績値 | 26年度計画値 | 27年度目標値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 30,088 | 31,949 | 40,784 | 45,932 | 97,228 | 45,728 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 30,088 | 31,949 | 40,784 | 45,932 | 97,228 | 45,728 |
| 人件費B | | 千円 | 5,255 | 5,728 | 5,728 | 5,728 | 5,728 | 5,728 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 279 × 5 | 309 × 5 | 309 × 5 | 309 × 5 | 309 × 5 | 309 × 5 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他費用C | | 千円 | 819 | 715 | 715 | 715 | 715 | 715 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 36,162 | 38,392 | 47,227 | 52,375 | 103,671 | 52,171 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/　人 | 5 | 6 | 7 | 8 | 16 | 8 |
| | ② | 千円/　人 | 99 | 100 | 126 | 138 | 273 | 139 |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 690110 | みよし市教育支援センター事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

平成１６年度　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

平成１５年度まで県委託事業であったものを、市単独で実施するようになった。平成２２年度から、事業の充実、効率化を図るため、教育支援センター構想として実施した。

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：悩みや不安を抱える児童生徒・発達障害を抱える児童生徒の増加

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

普通学校に在籍し、支援を必要とする児童、生徒が増加しているため、補助員の増加が急務となっている。

平成１８年３月議会で事業内容についての質問を受けた。
平成２２年３月議会で事業内容についての質問を受けた。

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | なし |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 「悩みや不安を解消していく、問題行動の減少・防止を図る」ことは、「知徳体の調和のとれた人間形成を図る」ことに結びつく。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | ■できる → ■拡大<br>□できる → □縮小<br>□できない | 内容 | 就学前の乳幼児及び中学校卒業後の生徒とその保護者 |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加<br>□できる → □拡充<br>□できる → □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | ■できる<br>□できない | 理由又は内容 | 教育相談事業の事務の効率化を図ることにより、相談件数の増加を図ることができる。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業<br>□ある → □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | □ある → ■現状で適正<br>■ない → □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↑　増加 | 事業費の方向性 | ↑　増額 | 成果の方向性 | →　維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |